

## 第4回 南区まちづくり懇話会 議事録

1 日 時 平成29年1月18日(水) 午前10時から正午

2 場 所 南区役所 3階ホール

### 3 (1)出席委員

清本委員、兼田委員、辻田委員、金子委員、上田委員、福原委員、井村委員、平川委員、赤松委員、岡委員(副会長)、宮本委員、田中委員(会長)、金井委員、島田委員

### (2)出席職員

区長、区民部長、保健福祉部長、総務企画課長、まちづくり推進課長、保健子ども課長、飽田総合出張所長、天明総合出張所長、幸田総合出張所長、南部出張所長、城南総合出張所長、飽田まちづくり交流室長、天明まちづくり交流室長、幸田まちづくり交流室、南部まちづくり交流室長、城南まちづくり交流室長、富合まちづくり交流室長

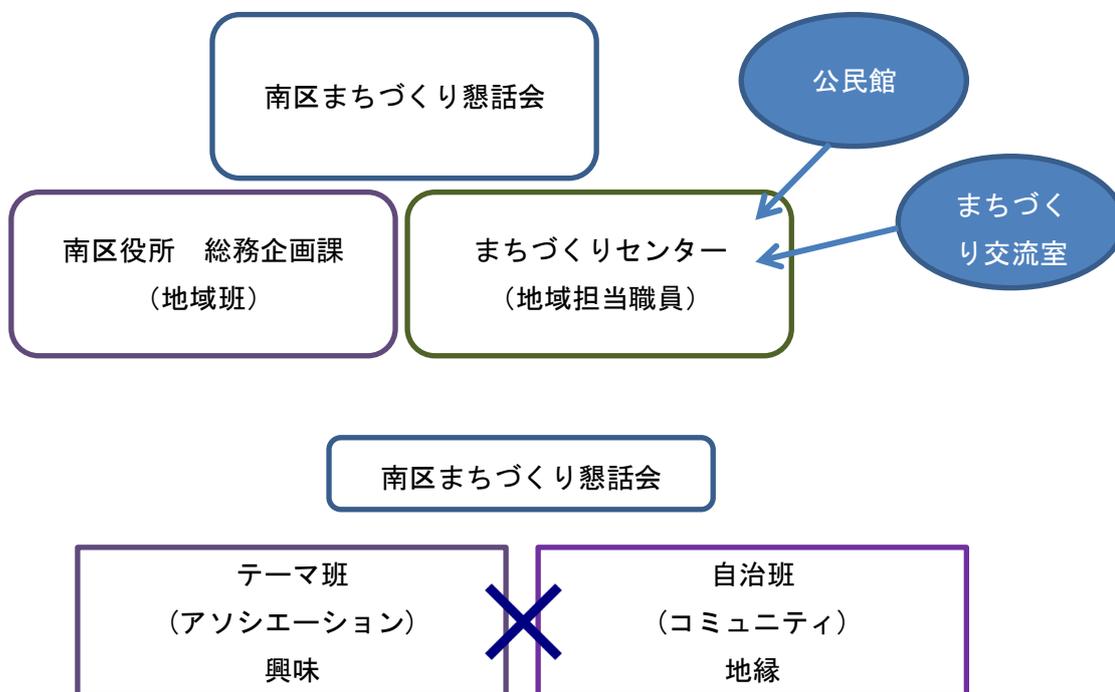
### 4 配布資料

- (1) 一会議次第
- (2) 一委員名簿
- (3) 一資料1「南区まちづくりビジョン(概要版)」
- (4) 一資料2「熊本市復興計画(概要版)」

### 5 次 第

- (1) 開会
- (2) 意見交換  
〈テーマ〉 南区の魅力特性を活かしたまちづくりについて
- (3) その他
- (4) 閉会

## 6 議事録



### 【テーマ】南区の魅力特性を活かしたまちづくりについて

会 長 来年、まちづくりセンターが設置され、ビジョンにおけるまちづくり推進体制も考え直すことが必要。もう一度初心に帰り、ビジョンの概要版を眺めながら、南区のまちづくりについて、意見交換をしていきたい。他の地域の良い活動を取り入れながら、より良い地域のまちづくりをやっていく。そのようなことが大事であり、これまで委員の皆さんの取組みをあらためてお話いただきたい。

副 会 長 まずは、会長のお話に対して、質問はないか。  
私は、まずは地域の方たちに今回の震災の後にどんなことがあってどんな対応をされたのかをお尋ねした。例えば、農業関連とか、川尻で言えば、お寺関係はかなり被害があっているし、商工会関係は店舗がだいぶやられているところがあると思う。

辻田委員 熊本地震を受けて、支援物資を無駄にしたくないという思いから、月1回の子どもサロンを立ち上げた。子ども食堂、バルーンアートなどプラスαで周りを巻き込んだ。

ただ、お金が出ない。社協で立ち上げ、学校と協力して、公民館事業にできないか。

子どもだけでなく、高齢者が集ってきて、お茶を飲みながら話ができるような場所も作りたい。プロジェクターもほしい。健康まちづくりと連携したい。

金井委員 子ども食堂は他にもある。川尻の「Budou (ブドウ)」では寄付やつながりをメディアや SNS で情報発信したことで、寄付やつながりができた。そういった SNS をうまく活用したことがよかった。

兼田委員 コミセンをもっと活用してほしい。城西は震災時、全(地域)公民館に無線を配布してあり、その拠点がコミセンになっていた。コミセンをもう少し、自治会の中核に位置づけていいのではないか。また、コミセンは自由に活用できる予算を持っている(利用料金制度)。よければ、人件費等の委託料 240 万自体ももう少し自由に使える予算にしてもらえば、もっと良い活動ができる。現状、資料の提出が多い市のやり方が残っている。まちづくりセンターが出来るのをきっかけに、コミセンも自治組織で自由な運営ができないかと思う。

副会長 赤松委員に震災の後の子どもたちへの対応はどうだったか聞きたい。

赤松委員 南区全体での主任児童委員からの聞き取りはしてないため把握していないが、まず、主任児童委員が災害を想定できていなかった。基本となるところができていなかった。当時も各自の判断で対応。

副会長 これまでの話を聞くと、地域内での横のつながりや情報発信がとても大事になってくる。「どこに行けば何があるのか」という情報共有。そして、消防団や校区自治協議会の動き。地域の組織の協議と整理が必要。

金子委員 支援物資の件で、各地区で車中泊の人たちにはそういった物資が届かなかった。そういった連絡も必要。

副会長 商店との地域のつながりはどうだったのだろうか。

商工会、商店街がまちづくりのお手伝いをされていたのもあって、どうだったのかなと思っている。

宮本委員 もともと自治会がやっていた夏まつり等を地元商工会が復興目的で実施したということはあった。

会 長 公民館・コミセンとまちづくりセンターの所管を教えてください。

まちづくり推進課長 コミセン・公民館の区役所所管はまちづくり推進課。ただし、本庁の所管は違う。

コミセン(単位：小学校区)は、地域の活動拠点。

地域公民館(単位：自治会)は、生涯学習・習い事(教室)を開催

兼田委員 今はコミセンも習い事が多い。

まちづくり推進課長 館(ハコ)があるから、結果的にそうなってしまっている。

会 長 尊敬する劇作家がいる。その人曰く、劇場というハコがあるが、貸し館になってしまうとダメ、そこで劇をつくっていかないと単にハコがあるから貸すだけでは、拠点となりえない。公民館も一緒に、自分たちで一生懸命公民館活動をやっている。そういった公民館であればいいが、貸し館だけでは拠点になりえない。たくさんハコはあるが、中身がないのはまちづくりにとって良くない。

まちづくりセンターはどういった人がいて、どういった場所になっていくのかを聞いたかった。熊本市がつくるものなので、大きなルールはあるにしても、南区は区長が南区ルールを作ってやってもらえると期待している。

宮本委員 地域班とは？

総務企画課長 新総務企画課の中にできる班。現総務企画課企画班と現まちづくり推進課まちづくり班が合体して地域班となる予定。

会 長 総務企画課長にお尋ねしたい。町役場のころは地域班のような仕事はどこがやられていたか？

- 総務企画課長 教育委員会社会教育課が行っていた。
- 会 長 昔は「社会教育」という名前で教育委員会がやっていたはず。教育委員会はちょっと特殊で「文化財」もあったし、「生涯学習」も。だから、公民館が地域の拠点だった。
- 兼田委員 もとは公民館から始まっている。また、行政の過保護になっているところがある。  
5区に分かれた段階で、中央集権的なものをやめるべきでは。例えば、成人式が良い例で、中央に集まりすぎて式場に入りきれない。区役所や中学校単位で予算を分散し、各自で実施したほうが良い。花火大会もそう。規模は少なくとも区役所単位であれば、分散するし、駐車場の確保も楽。
- 島田委員 富合では、成人式を自治協で開催し、保育園、小学校、中学校の先生からお呼びする。  
一番根っこから固まっている。
- 会 長 富合はフェイスブックにもあがっていた。大人になった成人式というけじめに市長から話を聞くため中央へ、地元の友達だけで会いたいから地域へと両方があると思う。
- 副 会 長 川尻では公民館が成人式を実施。戦後すぐからはじめ、今年1月3日で64回目を迎える。  
小学校の先生などにも来ていただいて、同世代のつながりと地域のつながりを保っている。
- 会 長 そういったことはいい話。例えば、来年度のまちづくりセンターでは、成人式をやるとか。
- 副 会 長 地域への帰属意識を高めるためにはとても良いこと。
- 上田委員 城南では自分たちでつくるかたちをとっている。その年の成人が企画する、手づくりの成人式。

- 副 会 長      こういう取り組みは、地域のまちづくりのキッカケになる。
- 兼田委員      消防団員が少なくなってきており、学校の先生が引っ張り出されている。地域成人式をきっかけに、消防団への入団をすすめるのもいい。
- 上田委員      今の総務企画課はまちづくりセンターの下につくのか。
- 総務企画課長      並列でならぶことになる。
- 上田委員      地域支援は、現在でもまちづくり交流室がやっている。どう変わるのか。名前が変わるだけでは、逆に、地域への関わりが薄くなるのではと心配する。  
今でも、いろいろな地域の場面でまちづくり交流室の職員は対応してくれている。ものすごくやりやすい。
- 総務企画課長      まちづくりセンターの目玉は、地域課題の解決等を地域に入って一緒にやっというもの。もちろん今でもまちづくり交流室がやっているが、もっと充実させる。
- 副 会 長      公民館と一緒に機能不全に陥っていた。そのためにも今回は、まちづくりセンターでは公民館業務とまちづくり業務を明確に分ける必要がある。
- 井村委員      専門職員を育てるべき。そのためには、早く異動させてはダメ。最低でも4年は必要。地域連携した者を何人かは残してもらいたい。
- 清本委員      自治会の能力も様々。まちづくりセンターの職員にこれまで以上に活躍いただいて、地域に浸透して、自治会長と区民をつなぐパイプ役になってもらいたい。
- 会      長      公民館活動は公民館の職員でできるのか。負担が多くならないか。
- 総務企画課長      貸し館事業は公民館班がやって、地域公民館活動については、地域担当職員が担うことになると思う。

- 福原委員 地域担当職員も地域の仕事で大変と思う。  
農業分野で言えば、各区に農区長がいる。自治会長を兼ねている人もおり、そういった農区長会議を開催してくれるといい。「農地水」の制度周知や自治会との連携ができる。
- 副会長 南区の主産業は農業。  
農区長と自治会の接点はあるのか？
- 辻田委員 月 1 回 各種地域団体（農区長も）が集まって、最終金曜に「金曜会」を開催している。  
多いときは 30 人ほど集まり、いろんな情報交換の場所になっている。社協主催で、学校、自治会等参加者すべて自費でやっている。
- 平川委員 まちづくりができて、食改も校区での活動は広がっている。
- 副会長 最近、食改さんはいろんなところで出番が増えてきた。
- 井村委員 こういう「いい所」の話ができるのがすばらしい。各校区いいところがある。飲み方でもこういう話を。「知る」ことが大切、地域団体の会合でもこういった情報提供が大事。
- 金子委員 施設を借りて、材料費のみで 1 人暮らしの高齢者等をメンバーに食事してもらっている。食事だけでなく、ヨガや英会話などたのしめるもの。毎週金曜日に開催しており、20 人くらい。1 人で食事をするより、みんなで楽しく食事ができたほうがよい。  
『チーム輪(リン)』と名づけている。
- 井村委員 コミセンがない地域にも多数地域公民館があるが、特定の地域の一箇所を重点・拠点公民館にするのも良いかもしれない。
- 兼田委員 そういったところへ予算をつけ、自治会が運営し、地域の拠点にするのもよいかもしれない。
- 岡副会長 校区の中の中央公民館的なもの。
- 田中会長 南区は、6 地域でいろいろな取り組みがある。ただ、それを一緒に

やるというのがない。市域は大きすぎるので、それを区域ではできないのではないかと思う。南区ではそれが出来る状況にあると思う。いつもこんなに楽しく意見交換ができる懇話会は素晴らしいと思う。次回は、もう一度、このような話を詰めていきたい。

副 会 長      できれば次回はビジョンの見直しを見越して、次に繋がるようなお話を少ししていければと思う。